

《基礎科目》

科目名	健康・スポーツ科学				
担当者氏名	川畑 和也				
授業方法	実技	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。				

《授業の概要》

【保育士必修】【幼稚園教諭必修】

健康・スポーツ科学I(講義)の理解を踏まえて、自身の健康を維持・増進するための運動遊びやスポーツの理解を行い、生涯にわたってスポーツ活動を実践するための基礎的な能力と態度の育成を目指す。また、基本的な運動・遊びやゲーム・スポーツ種目を通して、運動やスポーツの楽しさを実感するとともに社会的スキルを養う。

《授業の到達目標》

- 1 自己の健康・体力を理解し、日常的に運動する習慣を身につける。
- 2 身体活動を通して、運動技能および体力の向上を目指す。
- 3 集団の中の個人としての役割や責任を担い、コミュニケーション技能などの社会的スキルを獲得する。

《成績評価の方法》

課題20%
実技20%
授業の取組60%

《教科書》

なし(適宜資料を配付する)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出された課題等については、評価・フィードバックをした上で返却する。

《成績評価基準》

- 1 自己の健康・体力を理解し、日常的に運動を実践できている。
- 2 運動技能や体力の向上ができています。
- 3 授業だけでなく、授業準備や片付けなど積極的に行い、集団の中の個人としての役割や責任を担い、社会的スキルを身につける。

《参考図書》

『楽しく学ぶ運動遊びのすすめ』柴田卓・石森真由子編 株式会社みらいなど

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	健康・スポーツ科学 の内容を復習しておく(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
2	自己の体力を知る	体力テストについて調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
3	自己の体力を知る	体力テストについて調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
4	自己の体力を知る	体力テストについて調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
5	基礎的な運動	歩・走・跳を使った遊びや運動について調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
6	ゴール型スポーツ 基礎技術	ゴール型スポーツとは何か調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
7	ゴール型スポーツ 企画・運営と実際	実際に行うゴール型スポーツのルールを調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
8	ニュースポーツ	ニュースポーツとは何か調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
9	ネット型スポーツ 基礎技術	ネット型スポーツとは何か調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
10	ネット型スポーツ 企画・運営と実際	実際に行うネット型スポーツのルールを調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
11	ニュースポーツ	ニュースポーツとは何か調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
12	ベースボール型スポーツ 基礎技術	ベースボール型スポーツの種類について調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
13	ベースボール型スポーツ 企画・運営と実際	実際に行うベースボール型スポーツのルールを調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
14	ニュースポーツ	ニュースポーツとは何か調べる(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)
15	まとめ	これまでの授業内容を復習する(30分) 今回の授業内容の振り返り(30分)

《基礎科目》

科目名	コンピュータ演習				
担当者氏名	稲田 義邦				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。				

《授業の概要》

【保育士選択】【幼稚園教諭必修】

実務で使われることが多いOfficeのアプリケーションを利用して、電子紙芝居や電子絵本・実習指導案などを実際に作成し、現場で役立つスキルを習得するとともに、子どもたちの視点から見た表現方法の工夫についても考察する。これらのことを通して、現場での効果的なコンピュータの活用方法を身に付ける。

《授業の到達目標》

- ・ 情報発信の必要性と課題について説明することができる。
- ・ 電子紙芝居や電子絵本などを子どもたちや保護者に分かりやすい表現で作成することができる。
- ・ WordやExcelを用いて、実習指導案を作成することができる。

《成績評価の方法》

課題 90%
授業の取組 10%

《教科書》

「情報リテラシー」富士通エフ・オー・エム（株） FOM出版

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題についてはデータ提出を行い、2週間以内にコメントを返却。

《成績評価基準》

- ・ 情報発信の必要性と課題について説明することができたか。
- ・ 電子紙芝居や電子絵本などを子どもたちや保護者に分かりやすい表現で作成することができたか。
- ・ WordやExcelを用いて、実習指導案を作成することができたか。

《参考図書》

なし

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：Word&Excelの基本操作について、教科書を熟読しておくこと。(30分) 復習：Word&Excelの基本操作についてノートにまとめる。(30分)
2	情報発信の必要性と課題	予習：教科書M49-M64を熟読しておくこと。(30分) 復習：教科書M49-M72での気づきをノートにまとめる。(30分)
3	WordとExcelと連携による文書作成	予習：WordとExcelの連携について熟読しておくこと。(30分) 復習：WordとExcelの連携での気づきをノートにまとめる。(30分)
4	PowerPointの機能と特徴	予習：教科書P1-P3を熟読しておくこと。(30分) 復習：教科書P1-P3での気づきをノートにまとめる。(30分)
5	PowerPointによるプレゼンテーション作成1	予習：教科書P4-P13を熟読しておくこと。(30分) 復習：教科書P4-P13での気づきをノートにまとめる。(30分)
6	PowerPointによるプレゼンテーション作成2	予習：教科書P14-P29を熟読しておくこと。(30分) 復習：教科書P14-P31での気づきをノートにまとめる。(30分)
7	PowerPointでの特殊効果の設定	予習：教科書P32-P35を熟読しておくこと。(30分) 復習：教科書P32-P35での気づきをノートにまとめる。(30分)
8	PowerPointによる自己紹介作成1	予習：自己紹介の内容について検討しておくこと。(30分) 復習：自己紹介の内容について検討しノートにまとめる。(30分)
9	PowerPointによる自己紹介作成2	予習：自己紹介の表現方法について検討しておくこと。(30分) 復習：自己紹介の表現方法について検討しノートにまとめる。(30分)
10	PowerPointによる電子紙芝居・電子絵本作成1	予習：電子紙芝居・電子絵本の内容について検討しておくこと。(30分) 復習：電子紙芝居・電子絵本の内容について検討しノートにまとめる。(30分)
11	PowerPointによる電子紙芝居・電子絵本作成2	予習：電子紙芝居・電子絵本の表現方法について検討しておくこと。(30分) 復習：電子紙芝居・電子絵本の表現方法について検討しノートにまとめる。(30分)
12	電子紙芝居・電子絵本の発表	予習：電子紙芝居・電子絵本の発表内容について検討しておくこと。(30分) 復習：電子紙芝居・電子絵本の発表内容の反省をノートにまとめる。(30分)
13	WordやExcelによる指導案作成1	予習：指導案の内容について検討しておくこと。(30分) 復習：指導案の内容について検討しノートにまとめる。(30分)
14	WordやExcelによる指導案作成2	予習：指導案の内容について更に検討しておくこと。(30分) 復習：指導案の内容について更に検討しノートにまとめる。(30分)
15	Word及びExcelによる課題作成・提出	予習：Word&Excelの課題について検討しておくこと。(30分) 復習：Word&Excelの課題と反省についてノートにまとめる。(30分)

《基礎科目》

科目名	総合演習				
担当者氏名	富永 明子、平山 隆浩、吉原 美南子、溝上 敦子、和田 紘平、川畑 和也、下稻 美里、高丘 有季乃				
授業方法	演習	単位・必修	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学び力をつけている。 1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。				

《授業の概要》

【卒業必修】 前半は行事にクラスで取り組むことを通して、協調性や判断力、コミュニケーション力をつける場とする。後半は2年次の卒業研究を視野に、保育学科の専門領域について知り、考えて興味関心を焦点化していく。総合演習 に引き続き、ボランティア活動やマナー講習、進路指導等を通して、社会人、保育者としての意識を高めていく。

《授業の到達目標》

大学生としての学習スキルを向上させる。
協調性とコミュニケーションの重要性を意識して、企画や作業を協力して行うことができる。
社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。
共感力や主体性、誠実さなどの「人間力」を身につける。

《成績評価の方法》

課題 60%
授業の取組 40%

《教科書》

「これだけは知っておきたい
わかる・話せる・使える保育のマナーと言葉」
長島和代 編 わかば社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

・提出レポートは、各クラス担任が二週間以内にコメントをつけ返却する。
・ポートフォリオは、各クラス担任が二週間以内にコメントをつけ返却する。

《成績評価基準》

大学生としての学習スキルを向上させることができたか。
協調性とコミュニケーションの重要性を意識して、企画や作業を協力して行うことができたか。 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができるようになったか。 共感力や主体性、誠実さなどの「人間力」を身につけることができたか。

《参考図書》

随時資料を配布

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	履修指導・後期自己課題の設定・諸連絡	予習内容(30分) 指定された教科書のページをもとに予習する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
2	ボランティア活動の計画を立てる	予習内容(30分) 事前配布資料等を参考に予習する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
3	福浜祭準備	予習内容(30分) クラスごとに計画準備を行う 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
4	進路ガイダンス (就職活動の流れ)福浜祭準備	予習内容(30分) クラスごとに計画準備を行う 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
5	福浜祭準備	予習内容(30分) クラスごとに計画準備を行う 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
6	福浜祭準備	予習内容(30分) クラスごとに計画準備を行う 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
7	進路ガイダンス ・福浜祭準備	予習内容(30分) クラスごとに計画準備を行う 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
8	ボランティア活動	予習内容(30分) ボランティアの意義について調べ整理する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
9	保育者としての心得	予習内容(30分) 指定された教科書のページをもとに予習する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
10	進路ガイダンス (履歴書指導等)	予習内容(30分) 事前配布資料等を参考に予習する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
11	卒業研究説明会・学生生活アンケート	予習内容(30分) 事前配布資料等を参考に予習する 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
12	卒業研究個別説明会	予習内容(30分) 事前配布資料等を参考に予習する 復習内容(30分) ゼミエントリーシートを記入し研究内容をまとめる
13	労働法講座	予習内容(30分) 労働法について事前に調べる 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
14	ゼミ顔合わせ	予習内容(30分) ゼミでやりたいことなどを事前にまとめておく 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる
15	社会人基礎力習熟度チェック・後期試験の諸注意	予習内容(30分) これまでの授業内容をポートフォリオにまとめる 復習内容(30分) 授業内容についてノートにまとめる

《基礎科目》

科目名	茶道文化				
担当者氏名	吉井 恵子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。				

《授業の概要》

【保育士選択】茶の湯は日本のあらゆる伝統工芸、伝統文化を含んでいます。書、美術工芸、建築、庭はもちろんのこと菓子、料理、掃除にまで広がっています。茶道の実技や講義を通して、日本文化を学び、感性を豊かにして、茶道の精神を身につけていきます。

《教科書》

必要に応じてプリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業中に講評します

《授業の到達目標》

- ・さまざまなことに興味を持ち、積極的に学ぶことによって教養を身につける
- ・和室での作法、立ち振る舞いが美しくできるようになる。
- ・風炉・炉の薄茶点前ができるようになる。
- ・茶道の精神を身につけて、日常生活に役立つようにする。

《成績評価基準》

- ・和室での作法をどれくらい習得できたか
- ・風炉・炉の薄茶点前をどれくらい習得できたか
- ・茶道の精神が身につけてきたか
- ・日頃の授業態度

《成績評価の方法》

実技 60%
授業の取組 40%

《参考図書》

「茶の湯 ところと美」他
適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	風炉薄茶点前 茶の湯の歴史	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
2	風炉薄茶点前 五感で楽しむ	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
3	風炉薄茶点前 茶室と露地	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
4	風炉薄茶点前 花入れ・茶花	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
5	風炉薄茶点前 茶道具(風炉・炉)	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
6	炉薄茶点前を見る 茶の湯と季節	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
7	炉薄茶点前	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
8	炉薄茶点前	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
9	炉薄茶点前	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
10	炉薄茶点前	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
11	炉薄茶点前 茶事について	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
12	炉薄茶点前 濃茶について	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
13	炉薄茶点前	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
14	炉薄茶点前	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：点前のイメージトレーニングをすること(30分)
15	総括 茶会形式にて	予習：点前のイメージトレーニングをすること(30分) 復習：家族に美味しいお茶を点ててください(30分)

《専門科目》

科目名	保育者論				
担当者氏名	下稻 美里				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士必修】保育士の役割や専門性、倫理、協働等、保育士になる上での基本的な知識を習得する。また、授業を通して、社会の中で働くことの意識を持ち、自分がどのような保育者になりたいかを考え、「保育観」を確立していくための土台を作っていく。保育事例や保育に関する動画等から、保育者の役割や援助方法、配慮の視点について考え、述べるができるようになる。また、グループ間で共有しながら主体的に学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 保育士の役割、倫理、協働、保育士の制度的位置付けについて説明することができる。 2. 保育士の専門性と専門性を支える省察の繋がりについて説明することができる。 3. 保育士間の連携・協働の重要性、家庭との連携や支援の在り方について学び、保育士としての対応や行動等のできることを自分なりに述べるができる。 4. 保育士の在り方について問いながら、自分が目指す保育者観と関連づけることができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 0%
 課題 25% 実技 0%
 授業の取組 15%
 その他 () 0%

《教科書》

『アクティベート保育学02 保育者論』（2019年）汐見稔幸・大豆生田啓友（監修）ミネルヴァ書房

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎授業の終盤で感想の記入を求めるが、授業内容の捉え方のずれや質問等があった場合は、授業内で全体に解説を行う。筆記試験のフィードバックとして、解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

1. 授業に意欲的に参加できたか。
 2. 感想等の課題に真摯に取り組み、期日までに提出ができたか。
 3. 本授業で学んだことを自分の言葉で説明したり、述べたりすることができ、授業の到達目標が達成できたか。

《参考図書》

保育所保育指針（2017年）厚生労働省

その他は、授業内で適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション～保育者になるということ	予習内容 教科書に目を通すこと(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
2	社会人になる自覚と責任～働くということ	予習内容 教科書に目を通すこと(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
3	保育所の午前の保育と保育士の役割	予習内容 教科書pp.57-66を熟読し、整理する(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
4	保育所の午後の保育と保育士の役割	予習内容 教科書pp.66-74を熟読し、整理する(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
5	子どもの内面や発達を理解する保育者	予習内容 教科書pp.77-92を熟読し、整理する(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
6	遊びを援助する保育者	予習内容 教科書pp.95-110を熟読し、整理する(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
7	保育士の制度的位置付け～保育士の資格・要件	予習内容 教科書pp.23-34を熟読し、整理する(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
8	保育士の倫理	予習内容 全国保育士会倫理綱領について調べ、整理する(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
9	保育者の専門性と省察	予習内容 教科書pp.72-73、108-110、121-125、216-218を熟読する(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
10	保育者の同僚性・協働性～語り合いと学び合い	予習内容 教科書pp.193-206を熟読し、整理する(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
11	家庭との連携と保護者に対する支援	予習内容 教科書pp.133-138を熟読し、整理する(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
12	家庭との連携と保護者に対する支援	予習内容 教科書pp.139-148を熟読し、整理する(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
13	多様な子どもの理解と支援する保育士	予習内容 教科書pp.149-165を熟読し、整理する(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
14	保育士の専門性とは？	予習内容 教科書pp.209-225を熟読し、整理する(2時間) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(2時間)
15	まとめ	予習内容 第1～14回授業の資料を振り返り、整理する(2時間) 復習内容 第1～15回授業を振り返り、自分なりに整理する(2時間)

《専門科目》

科目名	子ども家庭福祉				
担当者氏名	工藤 歩				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

子ども家庭福祉に関連する歴史的変遷、理念と、法体系、そしてそれらの基盤となる子ども的人権と尊厳についてと、それらを支える専門職及び関連分野との連携・ネットワーク等について学ぶ。

《教科書》

ミネルヴァ書房「子ども家庭福祉」倉石哲也、伊藤嘉与子、澁谷昌史、ミネルヴァ書房「保育小六法」、基本は配布資料によって講義を勧める。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義終了後の質問時間を設けるとともに、リアクションペーパーを配布し、それにコメントをする形で返却し、フィードバックを行なう。

《授業の到達目標》

子ども家庭福祉の歴史的成り立ちを理解することを通じて、現代社会における意義と役割について考える。また、保育士資格取得に向けての中心的科目であることを理解した上で、過去から現代にわたる子ども家庭福祉の理念、意義、歴史、法体系、制度的枠組み等を包括的な理解を目的とする。さらに専門職者からの視点に留まらず、「生活者」としての人々が抱える問題についての視点も捉えられるようになることを目的とする。

《成績評価基準》

試験60%、レポート10%、課題10%、授業への取り組み姿勢20%

《成績評価の方法》

筆記試験 60 % レポート 10 %
 課題 10 % 実技 0 %
 授業の取組 20 % その他 () %

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	利エンション-子ども家庭福祉の原理と理念の理解	予習：テキストを基本に予習、30分
2	子ども家庭福祉と子どもの権利保障	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
3	子ども家庭福祉の歴史的背景(1)	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
4	子ども家庭福祉の歴史的背景(2)	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
5	子ども家庭福祉における関連法規の概要	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
6	子ども家庭福祉の制度・政策	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
7	児童虐待と家庭支援	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
8	社会的養護と子ども家庭支援	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
9	「子どもの貧困」問題	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
10	保育士とソーシャルワーク	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
11	少子化対策	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
12	子ども家庭福祉とネットワーク構築	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
13	障がい児、病児支援	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
14	児童健全育成支援	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分
15	地域における子ども家庭福祉支援	予習：前回配布資料・テキストを基本に予習30分 復習：今回配布資料・テキストを基本に復習、30分

《専門科目》

科目名	子ども理解と保育援助				
担当者氏名	高丘 有季乃				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士必修】【幼稚園教諭必修】

- (1) 保育は子ども理解からはじまる、その意味を理解する。
- (2) 子どもの内面を理解し、発達や学びの過程で生じる様々な要因について実践事例より理解する。
- (3) 子ども理解から保育者との信頼関係をつくり一人ひとりに応じた援助のあり方を理解する。

《教科書》

特に指定しない、適宜資料を配付する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

前回のリアクションペーパーを基に授業のはじめに確認、共有化を図る。

《授業の到達目標》

- (1) 子ども理解の意義をについて説明できる。
- (2) 子どもを理解することから発達や学びを捉える原理について説明できる。
- (3) 子ども理解を深める保育者の基本的態度について説明できる。

《成績評価基準》

授業への取り組み姿勢、リアクションペーパー 50%
試験 50%

《成績評価の方法》

筆記試験 50 %
レポート 40 %
課題 10 %

《参考図書》

高嶋・砂上・森上編「子ども理解と援助」ミネルヴァ書房201

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション、受講にあたっての授業概要	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
2	保育における子ども理解の意義	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
3	子どもの生活やあそびと援助	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
4	子どもと保育者との関係づくり	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
5	子ども同士の関係づくり	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
6	個と集団における体験と育ち	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
7	子どもの葛藤やつまずき	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
8	子どもを理解する観察の意味	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
9	子どもを理解する記録の意味	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
10	保育の省察・評価	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
11	保護者との子ども育ちの共有	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
12	保育者の協働	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
13	発達の課題に応じた援助	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
14	発達に対応する関係機関	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分
15	まとめと課題	予習：授業計画から60分 復習：授業内容60分

《専門科目》

科目名	教育心理学				
担当者氏名	富永 明子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士選択】【幼稚園教諭必修】
教育心理学に関する基礎知識と理論について、テキストに沿って講義と視聴覚教材により学ぶ。
また、幼児教育現場での事例の考察や、グループディスカッションによる事例検討を行うことを通して、より理解を深める。

《授業の到達目標》

1. 幼児期の心身の発達と学習の過程についての基礎的なことながらを説明できる。
2. 発達段階ごとの心理的特徴をふまえた子どもの学習活動を支えるための考え方ができる。
3. 学んだ知識をもとに、幼児教育・保育の現場での事象を読み解き、教育・保育実践に応用できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 80% レポート 10%
課題 % 実技 %
授業の取組 10%
その他 () %

《教科書》

「保育のためのやさしい教育心理学」高村和代・安藤史高・小平英志著、ナカニシヤ出版

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートについては必要に応じたコメントをつけて2週間以内に返却する。
筆記試験の後は解説を行う。

《成績評価基準》

学んだ知識・理論等を、暗記レベルではなく自分自身の言葉で説明できるような理解、説明ができるか。
また、授業に意欲を持って取り組み、理解したことを適切に表現できるか。

《参考図書》

新保育ライブラリ 子どもを知る「教育心理学」無藤隆・麻生武(編著) 北大路書房

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション/教育心理学とは	予習:教科書の「まえがき」を読み、授業の流れを把握しておく(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
2	子どもの育ち 発達段階・発達課題	予習:教科書 p1~9を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
3	子どもの育ち 乳幼児期・児童期・青年期	予習:教科書 p9~15を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
4	子どもの学び 学習	予習:教科書 p17~21を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
5	子どもの学び 知能、記憶	予習:教科書 p22~29を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
6	動機づけ 内発的動機づけと外発的動機づけ	予習:教科書 p31~38を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
7	動機づけ 子どものやる気を促すために	予習:教科書 p38~40を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
8	教育方法 代表的な教授法	予習:教科書 p41~47を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
9	教育方法 学びの支援、情報機器の活用	予習:教科書 p48~54を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
10	教育評価 評価とは~目的・基準・時期	予習:教科書 p55~59を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
11	教育評価 幼児教育・保育における評価	予習:教科書 p60~63を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
12	クラス運営 クラス集団でのかかわり	予習:教科書 p65~71を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
13	クラス運営 保育者の資質	予習:教科書 p71~75を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
14	配慮を要する子どもについて	予習:教科書 p91~103を読む(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)
15	事例を通じた考察 授業のまとめ	予習:授業全体をふり返り、質問を考えておく(2時間) 復習:プリントを活用して授業内容をまとめる(2時間)

《専門科目》

科目名	特別支援教育総論				
担当者氏名	森 孝一				
授業方法	講義	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士選択】【幼稚園教諭必修】

実際の保育等の現場では、障害等のある子どもたちが増えている。授業では、特別支援教育の理念を踏まえ、特別支援教育制度の理解を深めるとともに、適切な指導および必要な支援につなげるための実践的な知識を修得する。

《教科書》

「特別支援教育」監修 松浪健四郎 他 中山書店 2021

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験内容に対する振り返りや解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

- ・特別支援教育の歴史や制度を説明できる。
- ・保育所・幼稚園・小中学校等における特別支援教育の現状や課題について説明できる。
- ・各障害の特性を理解し、基本的な指導内容・方法を説明できる。

《成績評価基準》

- ・特別支援教育の歴史や制度を説明できるようになったか。
- ・保育所・幼稚園・小中学校等における特別支援教育の現状や課題について説明できるようになったか。
- ・各障害の特性を理解し、基本的な指導内容・方法を説明できるようになったか。

《成績評価の方法》

筆記試験80%
授業の取組20%

《参考図書》

文部科学省 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編 2018

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	特別支援教育の歴史的変遷と概念	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
2	特別支援教育の制度	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
3	視覚障害と聴覚障害の理解と支援	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
4	肢体不自由と病弱の理解と支援	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
5	知的障害の理解と支援	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
6	言語障害の理解と支援	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
7	ASDの理解と支援	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
8	LDの理解と支援	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
9	ADHDの理解と支援	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
10	幼稚園等における特別支援教育	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
11	小学校と中学校における特別支援教育	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
12	特別な教育的ニーズのある幼児等の理解と支援	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
13	通級による指導と自立活動	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
14	個別の指導計画と個別の教育支援計画	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)
15	望ましい特別支援教育体制の在り方	予習：指定された教科書の箇所を熟読しておくこと(30分) 復習：授業で使用したシート等を振り返ること(30分)

《専門科目》

科目名	子どもの健康と安全				
担当者氏名	緒方 智美				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

子どもの健康及び安全の確保は、子どもの生命の保持と健やかな生活の基本であり、一人一人の子どもの健康の保持及び増進並びに安全の確保とともに、保育所全体における健康及び安全の確保に努めることが重要となる。本授業では、子どもに多い疾患の特徴や体調不良時の対応、保育の場で子どもが安全で健康に生活するために必要な環境への配慮について学び実践力を習得する。

《授業の到達目標》

1. 保健的観点を踏まえた保育環境や援助について説明できる
2. 衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策・感染症対策について説明できる
3. 子どもの体調不良等に対する適切な対応を説明できる
4. 子どもの発達や状態等に即した適切な対応を説明できる
5. 子どもの健康及び安全への組織的取組や保健活動の計画及び評価等について説明できる

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
 課題レポート(個人・グループ) 20%
 授業の取組 20%

欠席 - 2点 遅刻 - 1点

《教科書》

「子どもの健康と安全 新・基本保育シリーズ」公益財団法人児童育成協会 監修/松田博雄、金森三枝 編集(中央法規出版)その他配布資料

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業で提出した課題については、すべて個別に返却します。質問は随時受け付けし、質問のうち、全体に周知したほうがよい内容については、授業内で全体にフィードバックします。その際、質問した個人が特定されないよう十分配慮します。

《成績評価基準》

科目修了試験(60%)、課題レポート(個人・グループ)(20%)、受講態度(20%)
 筆記試験は講義出席2/3以上を受験資格とする。

《参考図書》

2018年度改訂版保育所における感染症対策ガイドライン
 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン
 (全て厚生労働省)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス 保育者の健康管理	予習 教科書、資料等の振り返り(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
2	子どもの健康と保育の環境	予習 教科書 p2~10の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
3	個別対応と集団全体の健康	予習 教科書 p12~22の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
4	保健的対応の基本的考え方	予習 教科書 p98~108の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
5	衛生管理 消毒方法、エプソンの衛生管理	予習 教科書 p24~32の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
6	感染症の集団発生と予防、対応	予習 教科書 p86~96の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
7	事故防止及び安全対策	予習 教科書 p36~58の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
8	体調不良や傷害が発生した場合の対応	予習 教科書 p60~70の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
9	救急処置および救急蘇生法	予習 教科書 p72~84の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
10	3歳児未満への適切な対応	予習 教科書 p110~120の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
11	保健計画および評価 身体計測・発育発達の評価	予習 教科書 p160~170の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
12	個別的な配慮を必要とする子どもへの対応	予習 教科書 p122~134の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
13	障害のある子への適切な対応 職員間の連携/協働	予習 教科書 p136~146の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
14	地域との連携授業のまとめ	予習 教科書 p148~158の熟読(30分) 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)
15	家庭・専門機関・地域との連携 授業のまとめ	予習 教科書及び配布資料の総復習 復習 教科書、資料等の振り返り(30分)

《専門科目》

科目名	保育の計画と評価				
担当者氏名	高丘 有季乃				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身につけている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

この科目では、子ども理解に基づく保育の計画・評価について、その必要性と方法について学びます。

授業の後半では、講義を踏まえて、子どもの事例を基に実際に遊びや園生活についての指導計画を作成し、発表します。

《授業の到達目標》

保育の質向上のための保育の計画や評価の意義・方法を理解し、説明できる。

子どもの発達段階に合わせた保育計画を作成することができる。

全体的な計画と指導計画について、発達段階別に発表することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 0% レポート 0%

課題 40% 実技 40%

授業の取組 20%

その他() 0%

《教科書》

保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

10～14回目の授業内で指導計画の発表と模擬保育を行う。授業終了時に発達段階別の保育計画を提出する。

指導計画の返却時にフィードバックとしてコメント等で評価内容を可視化。

《成績評価基準》

保育の質向上のための保育の計画や評価の意義・方法を理解し、説明できたか。

子どもの発達段階に合わせた保育計画を作成することができたか。

全体的な計画と指導計画について、発達段階別に発表することができたか。

《参考図書》

適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション・保育における計画の意義	復習内容：保育における計画の意義について説明できるようにしておくこと(30分)
2	日本における保育計画の歴史と現状	復習内容：授業ノートの振り返り(30分)
3	各指針、要領での保育計画と評価の位置づけ	予習内容：幼稚園教育要領、保育所保育指針の保育計画・評価に関する箇所について読んでおくこと(30分) 復習内容：授業ノートの振り返り(30分)
4	幼稚園の教育課程の編成について	予習内容：幼稚園教育要領の保育計画に関する箇所について読んでおくこと(30分) 復習内容：授業ノートの振り返り(30分)
5	保育所・認定こども園等の全体的な計画について	予習内容：保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領の保育計画に関する箇所について読んでおくこと(30分) 復習内容：授業ノートの振り返り(30分)
6	保育の評価	予習内容：各指針・要領の保育の評価に関する箇所について読んでおくこと(30分) 復習内容：授業ノートの振り返り(30分)
7	指導計画の書き方	予習内容：各指針・要領の保育の計画に関する箇所について読んでおくこと(30分) 復習内容：授業ノート・配布資料の振り返り(30分)
8	0歳児の指導計画と評価	予習内容：0歳児の発達段階を踏まえた指導計画の作成(40分) 復習内容：模擬保育の振り返り(30分)
9	1～2歳児の指導計画と評価	予習内容：1～2歳児の発達段階を踏まえた指導計画の作成(40分) 復習内容：模擬保育の振り返り(30分)
10	3～4歳児の指導計画と評価	予習内容：3～4歳児の発達段階を踏まえた指導計画の作成(40分) 復習内容：模擬保育の振り返り(30分)
11	5歳児の指導計画と評価	予習内容：5歳児の発達段階を踏まえた指導計画の作成(40分) 復習内容：模擬保育の振り返り(30分)
12	小学校との接続の視点からみた保育計画と評価	予習内容：各指針・要領の保育の小学校との接続に関する箇所について読んでおくこと(30分) 復習内容：授業ノートの振り返り(30分)
13	評価の可視化のためのドキュメンテーション	予習内容：保育のドキュメンテーションについて調べてくる(30分) 復習内容：授業ノートの振り返り(30分)
14	評価の可視化のためのドキュメンテーション	復習内容：授業ノートの振り返り(30分)
15	まとめ	復習内容：授業ノートの振り返り(30分)

《専門科目》

科目名	幼児と健康				
担当者氏名	川畑 和也				
授業方法	講義	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士選択】【幼稚園教諭必修】

心身の健康に関する領域「健康」の意義を捉える・幼児期の身体、運動、生活習慣、心理的発育発達などを踏まえ、子どもを取り巻く現状、安全管理などへの理解を深める。

《教科書》

『子どもの健康と遊びの科学』（2022年発刊予定） 安部孝他 講談社サイエンティフィック

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業内の課題やリアクションペーパー等の提出物に関しては、理解度を確認し適宜フィードバック等を行い返却する。

《授業の到達目標》

心身の健康に関する領域「健康」意義について理解する。また幼児期の発育・発達の特徴とその意味を理解し、子どもが健康で安全生活を送るための知識を身につける。

《成績評価基準》

1. 保育内容「健康」の意義について専門的な知識を習得し、説明することができたか。
2. 幼児期の発育発達の特徴と意味を理解し、子どもの取り巻く環境や要因についても説明することができたか。
3. 子どもが健康で安全な生活を送るための保育者の援助や支援の方法などについて具体的に説明することができたか。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%
課題 20%
授業の取組 30%

《参考図書》

幼稚園教育要領
保育所保育指針
幼保連携型認定こども園教育・保育要領

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	「健康」とは何か	「子どもらしい生活」についてまとめる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
2	子どもの心と健康/子どもにとっての健康の意味	子どもの健康を捉える視点としてどのような視点が重要か考える(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
3	子どもの「健康」を取り巻く現状と課題	生活環境について調べる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
4	子どもの心身の発育発達/発育発達の構成要因	スキャモンの発育曲線について調べる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
5	幼児期の身体の特徴	自分自身の出生児の身長・体重等について調べる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
6	幼児期の生理的機能の発達	大人と子どもの生理的機能の働きについて調べる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
7	幼児期の情緒・社会性の発達	子どもの遊びの変化について調べる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
8	幼児期の基本的な生活習慣の形成	自分自身の現在と幼児期の生活習慣についてまとめる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
9	幼児期の健康的な生活リズム	一日の生活活動時間についてまとめる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
10	幼児期の安全管理・安全教育	子どもの事故やけがの特徴について調べる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
11	幼児期の健康管理・保健指導	自分自身の予防接種について調べる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
12	幼児期の運動発達の特徴/動作の獲得や運動能力	協応作用に打ちて調べる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
13	幼児期の運動遊び	幼児期に遊んだ遊びの内容をまとめる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
14	子どもが健康で安全な生活を送るために	虐待やネグレクトの原因について調べる(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)
15	まとめ	これまでの授業全般について振り返る(30分) 授業内容を振り返り、まとめる(30分)

《専門科目》

科目名	幼児と言葉				
担当者氏名	下稲 美里				
授業方法	講義	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身につけている。				

《授業の概要》

【保育士選択】【幼稚園教諭必修】 領域「言葉」の指導の基盤となる保育内容「言葉」に関する基本の専門的知識を習得する。保育事例や保育に関する映像等をもとに、子どもの言葉の獲得に繋がる保育とは何かを考えていく。子どもの言葉を豊かにするために、保育者としてどのような援助や配慮が必要かを具体的に考え、グループワークで共有していく。また、児童文化財を用いた実践を行い、保育技術のスキルを身に付ける。

《授業の到達目標》

1. 保育内容「言葉」の意義や子どもの言葉の発達、領域「言葉」のねらい及び内容、児童文化財に関する基本的な専門知識を習得し、説明したり、それらに関する質問に答えたりすることができる。 2. 言葉の発達を支援する保育者の役割を学び、援助方法や配慮等を具体的に述べる事ができる。 3. 児童文化財「絵本」「ストーリーテリング」「言葉遊び」の意義や実践方法等の基本を理解し、実際に実践することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート 0%
 課題 20% 実技 15%
 授業の取組 15%
 その他 () 0%

《教科書》

『保育者をめざす人の保育内容「言葉」』（2017年）駒井美智子（編）みらい

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎授業の終盤で授業を振り返り、感想の記入を求めるが、授業内容に捉え方のずれや質問が記入されている場合は、授業内で全体に解説を行う。
 試験のフィードバックとして、解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

1. 授業に意欲的に参加できたか。
2. 感想等の課題に真摯に取り組み、期日までに提出ができたか。
3. 本授業で学んだことを自分の言葉で説明したり、述べたりすることができ、授業の到達目標が達成できたか。
4. 児童文化財の意義や基本的知識を習得し、実践できたか。

《参考図書》

幼稚園教育要領（2017年）文部科学省
 保育所保育指針（2017年）厚生労働省
 その他は、授業内で適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション ～幼児教育の基本について	予習内容 教科書に目を通すこと(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
2	保育内容「言葉」の意義	予習内容 教科書pp.13-24を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
3	子どもの言葉の発達過程(0・1・2歳児)	予習内容 教科書pp.39-45、63-70を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
4	子どもの言葉の発達過程(3・4・5歳児)	予習内容 教科書pp.45-50、70-74を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
5	領域「言葉」のねらい及び内容と保育	予習内容 教科書pp.25-38を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
6	児童文化財の意義と種類、歴史	予習内容 教科書pp.99-139を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
7	言葉に対する感覚 ～言葉の美しさや楽しさ	予習内容 教科書pp.115-126を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
8	言葉に対する感覚 ～「言葉遊び」の実践	予習内容 「言葉遊び」について調べる(30分) 復習内容 「言葉遊び」の実践を復習する(30分)
9	言葉の発達における「絵本」の意義	予習内容 教科書pp.99-102を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
10	「絵本」の読み聞かせの基本と実践	予習内容 教科書pp.102-104を熟読する。絵本を2冊準備し、下読みする(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
11	「紙芝居」の意義と歴史、演じ方の基本	予習内容 教科書pp.110-113を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
12	季節と遊び「かるた」作りと実践	予習内容 かるたの歴史、種類、遊び方について調べる(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
13	ストーリーテリングの意義と歴史、話し方の基本	予習内容 教科書pp.104-110を熟読し、整理する(30分) 復習内容 ストーリーテリングのおはなしを1つ覚える(30分)
14	言葉の発達を支援する保育者の言葉	予習内容 教科書pp.87-95を熟読し、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
15	まとめ	予習内容 第1～14回授業の資料等を振り返り、整理する(30分) 復習内容 第1～15回授業の資料等を振り返り、整理する(30分)

《専門科目》

科目名	幼児と表現				
担当者氏名	平山 隆浩、和田 紘平				
授業方法	講義	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士選択】【幼稚園教諭必修】

幼児期の表現について事例や画像資料等を使いながらレクチャーを行う。また授業を通して体験したことや考えたこと取り組んだ活動などをポートフォリオとしてまとめていくなど、活動しながら学ぶ授業とする。

《教科書》

保育内容領域表現 日々わくわくを生きる子どもの表現
堂本真実子 編著 わかば社
幼稚園教育要領解説 フレーベル館

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出課題については、2週間以内にコメントをつけて返却する

《授業の到達目標》

領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因について説明することができる。

幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項について説明することができる。

幼児の感性や創造性を豊かにするための技能、表現力を身に付けることができる。

《成績評価の方法》

レポート 50%

課題 50%

《成績評価基準》

領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因について説明することができたか。

幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項について説明することができたか。

幼児の感性や創造性を豊かにするための技能、表現力を身に付けることができたか。

《参考図書》

幼稚園教育要領解説
保育所保育指針解説書、
幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	領域「表現」の持つ意味について	予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
2	コミュニケーションとしての表現	予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
3	幼児の発達と素朴な表現について	予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
4	「生活の中」をキーワードに表現について考える	予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
5	環境の構成と表現について	予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
6	表現を支える保育者の基本的なあり方	予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
7	「子どもの表現の見方」について	予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
8	幼児の発達と素朴な表現について -音の発見-	予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
9	自然の中にある音への気付き -サウンドスケープ	予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
10	音探しと音遊びについて	予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
11	わらべうた遊びと伝承遊びについて	予習:わらべ歌を1曲調べ、実演できるように準備する(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
12	季節の行事と表現について	予習:日本の伝統行事について事前に調べておく(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
13	表現の楽しさはどこから来るのか	予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
14	子どもの表現活動における保育者の役割	予習:指定されたテキストの箇所を熟読しておくこと(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)
15	半期の学びを振り返る	予習:これまでの学びをポートフォリオにまとめる(30分) 復習:授業での気づきを付箋にまとめる(30分)

《専門科目》

科目名	幼児教育方法論				
担当者氏名	溝上 敦子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士選択】【幼稚園教諭必修】

幼児教育の基本的な指導原理や理論を理解し、さまざまな教育方法を身につけ、具体的に指導案として構想できるようにする。また、幼児理解に基づいた評価の基礎的な考え方を理解し、情報機器なども適宜に取り入れながら保育技術の向上を図る。授業では、実践的に指導案・ドキュメントの作成や模擬授業、またグループでの協同学習などを取り入れ学びを深める。

《授業の到達目標》

- 1 幼児教育の基礎的な理論と方法や教育方法の在り方を理解し、具体的な形で説明することができる。
- 2 保育を構成する基礎的要素を理解し具体的に活用できる。
- 3 幼児理解に基づいた評価の基礎的な考え方を説明できる。
- 4 教育の目的に適した基本的な指導技術を身につけ、基礎的な学習指導理論をもとに指導案を作成することができる。
- 5 保育に適した情報機器の基礎的な活用能力を習得する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
課題 20%
授業の取組 20%

《教科書》

小田豊・中坪史典 編著『幼児理解からかじまる保育・幼児教育方法〔第2版〕』（2020）建帛社

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

提出した課題レポートについては、2週間以内に評価し返却する。
筆記試験については、総括・まとめの時間で解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

- 1 幼児教育の基礎的な理論と方法等を理解し説明できるか。
- 2 保育を構成する基礎的要素を理解し活用できたか。
- 3 幼児理解に基づく評価の基礎的な考え方を説明できるか。
- 4 教育の目的に適した基本的な指導技術を身につけ、基礎的な学習指導理論をもとに指導案を作成することができたか。
- 5 保育場面での基礎的な情報機器の活用能力を習得できたか。

《参考図書》

『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針解説』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレール館(2018)、神長美津子 他編『保育方法論』光生社（2021）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション / 保育の方法とは	事前の配布資料をもとに事前学習に取り組む。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
2	幼児期の教育方法	教科書pp.1～6に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
3	幼児期の発達特性と援助	教科書pp.7～14に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
4	環境を通しての保育	教科書pp.15～22に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
5	遊びを通しての保育	教科書pp.23～32、pp.43～50に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
6	保育形態と援助方法	教科書pp.51～58、事前配布資料に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
7	幼児同士のトラブルと保育者の援助	教科書pp.33～42、pp.59～68、に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
8	幼児教育における健康及び安全指導	教科書pp.69～78に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
9	幼児教育における特別支援教育	教科書pp.79～90に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
10	「主体的・対話的で深い学び」と教材研究	事前資料の配布で予習する。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
11	教材作成と保育での活用方法（情報機器の活用）	事前資料の配布で予習する。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
12	家庭・地域との連携/幼・保・小連携	教科書pp.91～110に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
13	保育者の省察を促す保育記録（評価・改善）	教科書pp.111～120に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
14	保育者の研修と資質上/省察とカンファレンス	教科書pp.121～130に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の復習（ワークシートの活用）。2時間
15	総括・まとめ	前週に説明した重点内容に目を通しておくこと。2時間 今回の授業で学んだ内容の振り返り。2時間

《専門科目》

科目名	乳児保育				
担当者氏名	城 真衣子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 保育者としての専門的知識と基礎スキルが身についている。				

《授業の概要》

【保育士必修】

前期で学んだ乳児保育の目的や意義、3歳未満児の発達や保育内容等の理解を踏まえ、実践を通してより具体的に学び実践を身につける。

《教科書》

『乳児保育の基礎と実践』関根久美・山本智子 大学図書出版

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験のフィードバックとして講評や解説の時間を設ける。授業内に配布するワークシートについては、次回の授業内で授業に反映させる又はコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

3歳未満児の発育、発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本の理解を確認する。3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境設定について理解し、自ら説明することができる。乳児保育における配慮の実践について実践を通して学び、その方法が身につく。乳児保育の計画について発達を踏まえ作成することができる。実際の事例を記録にとって計画につなげることができる。

《成績評価基準》

前期の授業の内容を理解しているか授業内で確認(ミニテスト)を行う。後期の授業内での理解については試験にて評価する。毎授業で配布するワークシートや必要に応じて出された宿題にて評価を行う。実践の発表により評価を行う。ワークシートと課題で評価を行う。

《成績評価の方法》

筆記試験 50 % レポート 20 %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 30 % その他 () %

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	乳児保育の基本	予習：前期の授業の振り返りをしてくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
2	0歳児クラスの生活の流れ	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
3	0歳児クラスの保育環境	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
4	0歳児クラスの援助の実際	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
5	1歳児クラスの生活の流れ	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
6	1歳児クラスの保育環境	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
7	1歳児クラスの援助の実際	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
8	2歳児クラスの生活の流れ	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
9	2歳児クラスの保育環境	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
10	2歳児クラスの援助の実際	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
11	心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
12	集団での生活における配慮	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
13	環境の変化や移行に対する配慮	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
14	長期的な指導計画と短期的な指導計画	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う
15	個別的な指導計画と集団の指導計画	予習：前回の授業で配布したワークシートを記入してくる 復習：授業ワークシートの復習部分を行う

《専門科目》

科目名	子どものためのピアノ表現				
担当者氏名	吉原 美南子、和田 紘平、加藤 みゆき、巢山 千恵、小柳 厚子、水崎 玄、横須賀 紋子				
授業方法	演習	単位・必修	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身につけている。				

《授業の概要》

【保育士選択】

ピアノ及び子どもの歌弾き歌いの基礎的な演奏技術を習得するためグループレッスンと個人レッスンを受講する。前期に学んだ音楽表現の知識を実際にピアノ演奏に活かし、表現方法など演奏技術を習得する。演奏できるようになることで、音楽表現の喜びや楽しさを実感する。

《授業の到達目標》

- ・幼児の音楽教育の中で必要とされるピアノ演奏技術の習得にあたり、楽譜に書かれた音楽の諸要素について解釈し説明することができる。
- ・バイエル教則本70番程度の楽曲について、ピアノで表現することができる。
- ・付点リズムを含む子どもの歌をピアノで伴奏しながら歌うことができる。

《成績評価の方法》

課題 25% (音楽表現ノートを含む)
 実技 50%
 授業の取組 25%

《教科書》

[教職課程のための大学ピアノ教本-ハイエルツェル-による展開]教育芸術社
 [あなたも弾けるやさしい童謡唱歌集]木村鈴代編著同文書院

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

音楽表現ノートを、毎回授業時に教員に提出する。ノートの記述内容は、授業内での学び、アドバイス、各自の練習計画(予習・復習を含む)を記入する。授業内に教員のコメント記入後、ノートを受け取り、次回に備える。

《成績評価基準》

- ・楽譜に書かれた音楽の諸要素を解釈し、音楽用語を用いて教員とコミュニケーションをとることができるか。
- ・バイエル70番程度の楽曲をピアノ演奏できるか。
- ・子どもの歌を、前奏をつけ、歌い出しの合図を言い、正しいリズムでピアノ伴奏をしながら、正しい音高及びリズムでの歌唱ができるか。

《参考図書》

随時指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
2	ピアノ個人レッスン・弾き歌いワーク・レッスン①	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
3	ピアノ個人レッスン・弾き歌いワーク・レッスン	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
4	ピアノ個人レッスン・弾き歌いワーク・レッスン	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
5	ピアノ個人レッスン・弾き歌いワーク・レッスン	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
6	ピアノ個人レッスン・弾き歌いワーク・レッスン	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
7	ピアノ個人レッスン・弾き歌いワーク・レッスン	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
8	中間発表会	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:中間発表会の成果と反省をまとめ、次の楽曲を弾き込む(30分)
9	ピアノ個人レッスン・弾き歌いワーク・レッスン	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
10	ピアノ個人レッスン・弾き歌いワーク・レッスン	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
11	ピアノ個人レッスン・弾き歌いワーク・レッスン	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
12	ピアノ個人レッスン・弾き歌いワーク・レッスン	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
13	ピアノ個人レッスン・弾き歌いワーク・レッスン	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
14	ピアノ個人レッスン・弾き歌いワーク・レッスン	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)
15	ピアノ表現及び弾き歌い表現技術発表	予習:テキストの指定した楽曲を譜読みし練習及び音楽表現ノートの記入(30分) 復習:レッスンした楽曲を弾き込む(30分)

《専門科目》

科目名	保育所実習				
担当者氏名	川畑 和也				
授業方法	実習	単位・必修	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。				

《授業の概要》

【保育士必修】

既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について10日間の実習を通して総合的に学び、保育の計画・観察・記録及び自己評価について具体的に理解する中で、保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ。

《授業の到達目標》

1. 保育所の役割や機能を具体的に理解する。2. 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。3. 既習の科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。4. 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。

《成績評価の方法》

実技 60%

事前指導・事後指導・実習報告会・提出物 40%

《教科書》

『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版』 石橋裕子・林 幸範 同文書院

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

直前指導時に記入したワークシートは、事後指導時に返却する。

事後指導時に記入したワークシートは、次年度「保育実習指導」の授業内で返却する。

実習終了後に提出した実習日誌については、次年度行われる実習報告会までに返却する。

《成績評価基準》

1. 保育所の役割や機能を具体的に理解できたか。2. 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深めることができたか。3. 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解できたか。4. 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解できたか。5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解できたか。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習:事前のオリエンテーションまでに、実習先の種別・内容等を理解する。(1時間) 復習:実習先での指導内容をまとめ、課題(指導案・教材)の準備をする。(1時間)
2	直前指導(1)	予習:様々な授業での学習、オリエンテーションの学びを振り返り、準備をする。(1時間) 復習:直前指導内容を再確認し、実習の目標を明確にする。(1時間)
3	直前指導(2)	予習:前回授業の内容を含め総合的に実習に備える。(1時間) 復習:実習への準備物などの最終チェックをする。(1時間)
4	実習1日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
5	実習2日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
6	実習3日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
7	実習4日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
8	実習5日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
9	実習6日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
10	実習7日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
11	実習8日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
12	実習9日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
13	実習10日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を総合的に振り返り、日誌を記入、お礼状も準備をする。(1時間)
14	事後指導	予習:目標達成、授業と実習の往還、必要な報告内容等、総合的に振り返る。(1時間) 復習:実習全般を総合的に振り返る。実習報告会の準備をする。(1時間)
15	実習報告会	予習:報告会に必要な準備物、報告内容を再度確認する。(1時間) 復習:報告会での学び、自己の振り返りから、次に活かす内容を考察する。(1時間)

《専門科目》

科目名	施設実習				
担当者氏名	吉原 美南子				
授業方法	実習	単位・必修	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。				

《授業の概要》

【保育士必修】

各種施設で現地実習を通して、施設での業務内容、施設の役割、利用者への支援方法、記録方法など実践活動を通して学ぶ。施設で働く職員の資質を習得する。10日間の現地実習を実施する。

《教科書》

新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版 [編著]石橋裕子・林 幸範
同文書院

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習先の評価結果をフィードバックする。実習先の評価と自身の評価を比較、省察し、自ら課題を見つめ直し、次の実習に活かす。

《授業の到達目標》

- ・施設が専門分化した機能を担っていることを解釈できる。
- ・施設の利用者への支援が実践できる。
- ・施設職員の業務内容を行うことができる。
- ・施設職員とのコミュニケーションを図ることができる。
- ・関連機関との連携について解釈できる。
- ・実習生として真摯な態度で積極的に学ぶことができる。

《成績評価基準》

- ・実習先施設の専門分化した機能について理解できたか。
- ・施設の利用者への対応、支援を体験できたか。
- ・施設職員の業務内容を理解できたか。
- ・施設職員とのコミュニケーションを図ることができたか。
- ・関連機関との連携について理解できたか。
- ・実習生として真摯な態度で積極的に学ぶことができたか。

《成績評価の方法》

実技 60%
授業の取組 40%

《参考図書》

随時提示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習:事前のオリエンテーションまでに、実習先の種別・内容等を理解する。(1時間) 復習:実習先での指導内容をまとめ、課題(指導案・教材)の準備をする。(1時間)
2	直前指導(1)	予習:様々な授業での学習、利用の学びを総合的に振り返り、準備をする。(1時間) 復習:直前指導内容を再確認し、実習の目標を明確にする。(1時間)
3	直前指導(2)	予習:前回授業の内容を含め総合的に実習に備える。(1時間) 復習:実習への準備物などの最終チェックをする。(1時間)
4	実習初日	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
5	実習2日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
6	実習3日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
7	実習4日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
8	実習5日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:巡回指導を含め日誌を記入、必要に応じて巡回に連絡をする。(1時間)
9	実習6日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、巡回指導内容を振り返る。(1時間)
10	実習7日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
11	実習8日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
12	実習9日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を振り返り、日誌を記入、必要に応じて巡回担当に連絡をする。(1時間)
13	実習10日目	予習:設定した目標に沿った観点から、実習に臨む準備をする。(1時間) 復習:実習を総合的に振り返り、日誌を記入、お礼状も準備をする。(1時間)
14	事後指導	予習:目標達成、授業と実習の往還、必要な報告内容等、総合的に振り返る。(1時間) 復習:実習全般を総合的に振り返る。実習報告会の準備をする。(1時間)
15	実習報告会	予習:報告会に必要な準備物、報告内容を再度確認する。(1時間) 復習:報告会での学び、自己の振り返りから、次に活かす内容を考察する。(1時間)

《専門科目》

科目名	保育実習指導 B				
担当者氏名	吉原 美南子、和田 紘平、川畑 和也、高丘 有季乃				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。				

《授業の概要》

【保育士必修】

保育実習指導 Aの内容を復習しながら、施設実習の概要や業務内容を学ぶ。実習日誌の作成方法を演習を通して学ぶ。保育所実習の概要や業務内容を学ぶ。実習日誌の作成方法や指導案の作成方法を演習を通して学ぶ。保育実習 の実践において、実習と授業の往還が実現し得る基盤作りをする。

《教科書》

新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版 [編著]石橋裕子・林 幸範
同文書院

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の内容に対する解説の時間を、随時設ける。

《授業の到達目標》

- ・施設実習および保育所実習の意義と目的を説明できる。
- ・実習における子どもの人権と最善の利益の考慮、守秘義務について理解し説明できる。
- ・実習の計画、実践、観察、記録、評価方法について理解し説明できる。
- ・実習における自身の課題や学習目標を明確にすることができる。

《成績評価基準》

- ・施設実習および保育所実習の意義と目的を説明できたか。
- ・実習における子どもの人権と最善の利益の考慮、守秘義務について理解し説明することができたか。
- ・実習の計画、実践、観察、記録、評価方法について理解し説明することができたか。
- ・実習における自身の課題や学習目標を明確にできたか。

《成績評価の方法》

- レポート 50%
- 授業の取り組 30%
- その他(提出物) 20%

《参考図書》

実習日誌・実習指導案 パーフェクトガイド 小櫃智子編著
わかば社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習: Aでの学習内容を総復習する。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。(1時間)
2	施設実習 の概要	予習: 教科書26～33頁を読む。施設の一日見学実習の振り返りをする。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。(1時間)
3	施設の概要(1) 日誌の書き方(1)	予習: 教科書34～43頁、参考書12～19頁を読む。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。(1時間)
4	施設の概要(2) 日誌の書き方(2)	予習: 教科書44～53頁、参考書20～25頁を読む。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。(1時間)
5	施設の概要(3) 日誌の書き方(3)	予習: 教科書54～71頁、参考書30～35頁を読む。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。(1時間)
6	施設種別指導(1)	予習: 教科書82～103頁を読む。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。(1時間)
7	施設種別指導(2)	予習: 自分の実習先に関する知識を深める。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。(1時間)
8	施設実習 直前指導	予習: B授業内容を振り返り、実習に備える。(1時間) 復習: 直前指導内容を振り返り、実習の準備をする。(1時間)
9	保育所実習 の概要	予習: 教科書150～151頁を読む。前期 Aでの学びを振り返る。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。提出期限前に書類を準備する。(1時間)
10	実習日誌(1)	予習: 参考書12～17頁、22～25頁、34～47頁を読む。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。(1時間)
11	実習日誌(2)	予習: 教科書180～197頁、参考書48～64頁を読む。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。(1時間)
12	実習日誌(3)	予習: 前回までの授業内容を振り返り、実践できるように理解する。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。(1時間)
13	指導案の書き方(1)	予習: 教科書192～193頁、参考書66～75頁を読む。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。(1時間)
14	指導案の書き方(2)	予習: 参考書76～101頁を読む。(1時間) 復習: 授業内容を整理し、理解する。(1時間)
15	まとめ 模擬保育 保育実習 直前指導	予習: 模擬保育の準備をする。準備物を作成し模擬保育の練習をする。(1時間) 復習: 直前指導の内容を整理し、保育実習に備える。(1時間)

《専門科目》

科目名	教育実習指導				
担当者氏名	下稻 美里、平山 隆浩、溝上 敦子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。				

《授業の概要》

【幼稚園教諭必修】幼稚園教育の概要と教育実習の意義・目的、実習生の心構えなどを体験的に学ぶとともに、本実習に関する依頼電話及び一日見学実習を含めた事前訪問についての礼儀、社会人としての態度について身に付けていく。また、一日見学実習を通して、幼児の活動を発達、生活、保育内容と関連づけて学び、幼児の活動と園生活全体について理解を深め、自己評価に基づき今後の教育実習に向けた自己課題を立てる。

《授業の到達目標》

1. 幼稚園の目的と教育実習の意義・目的を関連づけて自己課題を整理し、具体的に述べるができる。 2. 実習の一連の流れを理解し、書類作成や電話依頼、事前訪問を行うことができる。 3. 一日見学実習に積極的に参加し、実習日誌等に子どものかかわりや気付きの実際を記入することができる。 4. 一日見学実習の事後指導や総括を通して、自己評価と今後の自己課題を具体的に述べるができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 0% レポート 0%
 課題 30% 実技 30%
 授業の取組 40%
 その他 () 0%

《教科書》

『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』（2015年）小櫃智子（編）わかば社

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

一日見学実習日誌、お礼状、自己課題（PDCAサイクルシート）については、評価した後、教育実習指導IIで返却し、本実習に役立てる。
 実習の手続きに関する書類は提出を求め、添削して適宜指導を行う。

《成績評価基準》

1. 授業や実習に意欲的に参加できたか。
2. 実習の手続きに関する書類や課題等に真摯に取り組み、留意事項を守って、期日までに提出ができたか。
3. 本授業で学んだことを自分の言葉で説明したり、述べたりすることができ、授業の到達目標である4点が達成できたか。

《参考図書》

『幼稚園教育要領解説』（2017年）文部科学省 フレーベル館
 『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド』 石橋裕子・林幸範（編）同文書院

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション、教育実習、免許について	予習内容 シラバス、学生便覧「教職課程履修内規」に目を通す(30分) 復習内容 実習希望園について調べ、実習園希望調査票を記入し提出する(30分)
2	教育実習の意義と目的、幼稚園の一日と仕事内容	予習内容 教育実習の意義、目的、幼稚園の一日について調べ、整理する(30分) 復習内容 記入上の留意事項を確認しながら実習園調査票を作成する(30分)
3	実習生の心構え	予習内容 実習生の心構えについて考え、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
4	事前訪問について	予習内容 授業内で提示した課題に取り組む(30分) 復習内容 授業を振り返り、事前訪問の目的・意義、留意事項を整理する(30分)
5	日誌の書き方について	予習内容 日誌の意義、目的について教科書を読み、整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、日誌の表紙、pp.1~3を下書きし清書する(30分)
6	一日見学実習の自己課題について、事前訪問	予習内容 実習園に質問したいことを整理する(30分) 復習内容 授業を振り返り、自分なりにノートにまとめる(30分)
7	教育実習について、1・2年生合同教育実習報告会	予習内容 実習経験者へ質問したい内容を整理し、質問の準備をする(30分) 復習内容 教育実習報告会で学んだことを整理する(30分)
8	実習日誌について、第1回教育実習の依頼	予習内容 第5回授業「日誌の書き方について」振り返り、整理する(30分) 復習内容 一日見学実習先の概要を調べ、まとめる(30分)
9	幼稚園一日見学実習直前指導	予習内容 授業内で提示した課題に取り組む(30分) 復習内容 一日見学実習に向けて、授業で学んだことを復習し、準備をする(30分)
10	幼稚園一日見学実習	予習内容 実習への持参物、留意事項等の確認(30分) 復習内容 実習日誌・お礼状を下書きし清書する(30分)
11	一日見学実習事後指導、第2回教育実習の依頼	予習内容 授業内で提示した課題に取り組む(30分) 復習内容 一日見学実習で学んだことや今後の課題を整理する(30分)
12	一日見学実習の振り返りと報告会の準備	予習内容 授業内で提示した課題に取り組む(30分) 復習内容 実習報告会に向けて発表原稿を作成する(30分)
13	幼稚園一日見学実習報告会	予習内容 幼稚園一日見学実習報告会に向けて発表の準備をする(30分) 復習内容 実習報告会を省察する(30分)
14	指導案について	予習内容 「指導案作成について」教科書を読んで理解を深める(30分) 復習内容 指導案作成の意義・目的、留意事項等を振り返り、整理する(30分)
15	総括・本実習に向けて	予習内容 授業や実習を振り返り、本実習に向けた自己課題を明確にする(30分) 復習内容 第1回~15回授業を振り返り、学んだことや自己課題を整理する(30分)

《専門科目》

科目名	学外文化研修				
担当者氏名	富永 明子				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 広い視野で物事を捉え、感謝の心をもって積極的に学ぶ力をつけている。				

《授業の概要》

事前研修：訪問する地域、施設等の特徴や文化、保育および幼児教育事情について調べる。
 研修旅行：4～5日程度の学外（海外または国内）研修旅行を実施する。
 事後研修：事前研修段階から研修旅行を通して調査、体験したことをレポートにまとめる。

《教科書》

適宜資料を配付

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートについては必要に応じたコメントをつけて2週間以内
 に返却する。
 発表については講評を行う。

《授業の到達目標》

1. 学外（海外または国内）の文化、生活、保育・幼児教育について調べ、知識を得る。
2. 異文化を体験し、理解しあう視点とコミュニケーション能力を身につける。
3. 準備段階から主体的に計画し、目的意識を持って活動し、得られたことを記録しプレゼンテーションすることができる。

《成績評価基準》

研修への参加態度：主体性、積極性、協調性、マナーなど
 事前研修：取り組み、課題の遂行状況
 事後研修：取り組み、レポートの提出、発表内容・態度

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 20% 実技 %
 授業の取組 80%
 その他 () %

《参考図書》

各研修地についての参考文献、ガイドブック

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション/学外研修の意義と概要	予習：訪問地について概要を調べる(1時間) 復習：授業内容をふり返り、整理しておく(1時間)
2	事前研修 旅行に必要な準備、計画	予習：研修旅行にあたり必要なことや希望を考慮しておく(1時間) 復習：授業内容をふり返り、整理しておく(1時間)
3	事前研修 見学予定地についての研究	予習：見学予定地、施設について調べる(1時間) 復習：授業内容をふり返り、整理しておく(1時間)
4	事前研修 見学予定地についての研究発表	予習：見学予定地、施設について調べたことを説明できるように準備する(1時間) 復習：授業内容をふり返り、整理しておく(1時間)
5	事前研修 グループ研修内容について	予習：グループ研修の内容について提案できるよう準備する(1時間) 復習：授業内容をふり返り、整理しておく(1時間)
6	事前研修 研修計画の検討とまとめ	予習：研修全体の計画についてまとめておく(1時間) 復習：授業内容をふり返り、整理しておく(1時間)
7	事前研修 直前指導、健康・安全管理	予習：旅行の準備について個人で確認を行う(1時間) 復習：直前の準備確認、体調管理(1時間)
8	学外研修(8時間)	予習：体調管理し、旅行の直前準備をする(1時間) 復習：当日の研修内容について記録し、グループシェアリングする(1時間)
9	学外研修(8時間)	予習：研修内容についてのシミュレーションをし、準備する(1時間) 復習：当日の研修内容について記録し、グループシェアリングする(1時間)
10	学外研修(8時間)	予習：研修内容についてのシミュレーションをし、準備する(1時間) 復習：当日の研修内容について記録し、グループシェアリングする(1時間)
11	学外研修(8時間)	予習：研修内容についてのシミュレーションをし、準備する(1時間) 復習：当日の研修内容について記録し、グループシェアリングする(1時間)
12	学外研修(8時間)	予習：研修内容についてのシミュレーションをし、準備する(1時間) 復習：当日の研修内容について記録し、グループシェアリングする(1時間)
13	事後研修 研修のふり返り	予習：研修旅行内容についての記録を整理する(1時間) 復習：授業内容をふり返り、整理する(1時間)
14	事後研修 レポート作成	予習：研修によって学んだことを整理し、レポート作成の準備をする(1時間) 復習：授業内容をふり返り、整理する(1時間)
15	事後研修 研修体験発表会	予習：研修体験についての発表に向けて準備する(1時間) 復習：研修での学びを整理する(1時間)

《専門科目》

科目名	児童館・放課後児童クラブの機能と運営				
担当者氏名	岩崎 由樹巳				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。				

《授業の概要》

児童館・放課後児童クラブの活動の基本理念である「健全育成」の視点について学ぶ。児童館・放課後児童クラブの「ふれあい」「課題」「講師の失敗談」などを共有しながら理解度を深める。また、子どもたちに人気のあった遊びを体験し、実践力を高める。

《教科書》

児童館論（児童健全育成推進財団）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の評価は後日コメントを付けて返却
第15回のまとめの時間にて行う。

《授業の到達目標》

児童館・放課後児童クラブの基本的な機能を説明できるようになる。

現代の子どもたちの福祉的課題について理解し、さまざまな居場所の必要性について理解する。

発達段階に応じた遊びの必要性について各々の言葉で説明できるようになる。

《成績評価基準》

児童館・放課後児童クラブの基本的機能を説明できること。
発達に応じた遊びの必要性を各々のことばで説明できること

《成績評価の方法》

筆記試験 70%（レポートを含む）

課題 20%

授業の取組 10%

《参考図書》

適宜

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	予習：全国の児童館について調べておく（2時間） 復習：講義の内容を読みかえす。（2時間）
2	児童福祉法の理念と健全育成	予習：現代の子どもたちの福祉的課題について調べておく（2時間） 復習：講義の内容を読みかえす（2時間）
3	子どもの発達と遊び	予習：子どもの頃に夢中になった遊びをまとめておく（2時間） 復習：講義の内容を読みかえす（2時間）
4	児童館・放課後児童クラブの成り立ち	予習：テキストを読んでおく（2時間） 復習：講義の内容を振り返る（2時間）
5	児童館・放課後児童クラブってどんなところ？	予習：児童館・放課後児童クラブについて調べる（2時間） 復習：講義の内容を読みかえす（2時間）
6	児童館ガイドライン	予習：テキストの児童館ガイドラインを読んでおく（2時間） 復習：講義の内容をまとめておく（2時間）
7	児童館ガイドライン	予習：テキストの児童館ガイドラインを読んでおく（2時間） 復習：講義の内容をまとめておく（2時間）
8	児童館ガイドライン	予習：テキストの児童館ガイドラインを読んでおく（2時間） 復習：講義の内容をまとめておく（2時間）
9	放課後児童クラブについて	予習：放課後児童クラブについて調べておく（2時間） 復習：講義の内容をまとめておく（2時間）
10	地域とのつながり	予習：テキストの地域とのつながりを読んで、関連事項を調べておく（2時間） 復習：講義の内容をまとめておく（2時間）
11	安全管理・対策について	予習：テキストの安全対策について読んでおく（2時間） 復習：講義の内容をまとめておく（2時間）
12	配慮を必要とする子どもたちの居場所	予習：テキストの配慮の必要な子どもたちを読んで関連事項を調べておく（2時間） 復習：講義の内容をまとめておく（2時間）
13	児童館・放課後児童クラブの職場倫理	予習：テキスト、児童館ガイドラインを読んでおく（2時間） 復習：講義の内容をまとめておく（2時間）
14	児童館・放課後児童クラブのこれから	予習：今までの講義の内容を読んでおく（2時間） 復習：講義の内容をまとめておく（2時間）
15	まとめ	予習：今までの講義の内容を読んでおく（2時間） 復習：まとめ

《専門科目》

科目名	レクリエーション概論				
担当者氏名	川畑 和也				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身につけている。				

《授業の概要》

レクリエーションという言葉の主旨が「心を元気にすること」であることを理解し、楽しさを通じた心の元気づくりを行う手段としてのレクリエーション活動を有効に展開するための理論と対象や現場に合わせてレクリエーション事業を支援するためのインストラクターについての役割を理解する。

《教科書》

『楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法』（2017年）日本レクリエーション協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出課題等は評価・フィードバックをした上で返却を行う。

《授業の到達目標》

- 1.レクリエーションの意義や理論について理解する。
- 2.対象に合わせたレクリエーションのアレンジ方法を理解する。
- 3.レクリエーション事業について理解し、計画することができる。

《成績評価基準》

- 1.レクリエーションの意義や理論について理解し、説明することができる。
- 2.対象に合わせたレクリエーションのアレンジ方法を理解し、実践することができたか。
- 3.レクリエーション事業について理解し、具体的な計画立てることができたか。

《成績評価の方法》

課題60%
授業の取組40%

《参考図書》

『レクリエーション支援の基礎 楽しさ・心地よさを活かすと理論と技術』（2007年）日本レクリエーション協会

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション/資格取得に関して	学生便覧資格取得についてを精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
2	レクリエーション支援/インストラクターの役割	教科書p4~8を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
3	レクリエーションとは	教科書p9~17を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
4	楽しさを通じた心の元気づくり	教科書p20~32を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
5	心の元気と地域のきずな	教科書p33~36を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
6	コミュニケーションと信頼づくりの理論	教科書p38~41を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
7	信頼関係づくりの理論	教科書p42~43を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
8	良好な集団づくりの理論	教科書p44~49を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
9	自主的、主体的に楽しむ力	教科書p50~55を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
10	レクリエーション活動の展開とアレンジ	教科書p66~82を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
11	支援場面におけるリスクマネジメント	参考資料を精読。関連するニュースや記事を調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
12	レクリエーション事業	レクリエーションイベントに関するニュースや記事を調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
13	レクリエーション事業の計画	具体的なレク財等について調べる。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
14	レクリエーション事業の計画	計画したレクリエーションイベントの全体構成を見直しておく。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)
15	レクリエーション事業の提案/まとめ	計画したレクリエーションイベントの発表の準備を行う。(120分) 今回の授業内容の復習(120分)

《専門科目》

科目名	レクリエーション実技				
担当者氏名	川畑 和也				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 他者とのコミュニケーション能力も含めた表現力が身につけている。				

《授業の概要》

様々な体験活動を通して、レクリエーション活動の意義や楽しい人間関係を構築する支援者の考え方などを学ぶ。また、レクリエーション活動の多様さを理解し、集団や個人、環境に応じたレクリエーションの選定や提供の仕方、レクリエーション活動の展開方法などといった支援・援助の方法について学ぶ。

《教科書》

「楽しさを通した心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」日本レクリエーション協会（レクリエーション概論で使用したもの）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》
提出課題等は評価・フィードバックをした上で返却を行う。

《授業の到達目標》

- 1 様々なケースに対応できる多様なレクリエーションを知る。
- 2 支援者として、レクリエーション活動の意義や在り方を理解し、指導技術を習得する。
- 3 集団や個人、環境に応じた多様なレクリエーション活動プログラムの展開方法を身につける。

《成績評価基準》

- 1 様々なケースに対応できる多様なレクリエーション活動を理解することができたか。
- 2 支援者として、レクリエーション活動の意義や在り方を理解して指導ができたか。
- 3 集団や個人、環境に応じた多様なレクリエーション活動プログラムの展開ができたか。

《成績評価の方法》

課題 20%
実技 40%
授業の取組 40%

《参考図書》

「レクリエーション支援の基礎～楽しさ・心地よさを活かす理論と技術～」日本レクリエーション協会 など

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	レクリエーション概論の授業を振り返る(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
2	健康づくり運動・ゲーム	福祉レクリエーションについて調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
3	健康づくり運動・ゲーム	レクリエーションの効果について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
4	健康づくり運動・ゲーム	イニシアチブゲームについて調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
5	レクリエーション支援に向けた計画と練習	支援者のあり方について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
6	レクリエーション支援の実際と評価	レクリエーション支援の練習を行う(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
7	レクリエーション支援の実際と評価	レクリエーション支援の練習を行う(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
8	レクリエーション支援の実際と評価	レクリエーション支援の練習を行う(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
9	レクリエーション支援の実際と評価	レクリエーション支援の練習を行う(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
10	レクリエーション支援の実際と評価	レクリエーション支援の練習を行う(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
11	レクリエーション活動の展開	レクリエーション活動の意義について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
12	ニュースポーツ体験	ニュースポーツの種類について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
13	レクリエーション活動の展開	対象者理解について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
14	ニュースポーツ体験	ニュースポーツの種類について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
15	まとめ	これまでの授業内容を復習する(30分) 今回の授業内容の復習(30分)

《専門科目》

科目名	検定読解				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

N2に合格できる読解力を身に付けるために日常的な場面で使われる日本語を理解できるようにする。短文・中文の内容理解、統合理解、長文の主張理解、情報検索の読解演習をする。

《教科書》

N2読解スピードマスター

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

翌週の授業で文章中の語彙や文法を小テストで確認し、フィードバックをする。

《授業の到達目標》

- ・幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、易しい評論など、論旨が分かりやすい文章を読んで文章の内容を理解することができる。
- ・一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや言いたいことを理解することができる。
- ・N2に合格する。

《成績評価基準》

- ・期末テストで6割以上、毎回の小テストでは8割以上を求める。
- ・小テストを受けていない場合は減点対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %
課題 % 実技 %
授業の取組 50%
その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	内容理解(短文)150字~200字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
2	内容理解(短文)150字~200字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
3	内容理解(短文)150字~200字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
4	内容理解(中文)500字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
5	内容理解(中文)500字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
6	内容理解(中文)500字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
7	統合理解、600字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
8	統合理解、600字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
9	統合理解、600字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
10	主張理解、900字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
11	主張理解、900字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
12	主張理解、900字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
13	情報検索	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
14	情報検索	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
15	演習問題	授業のプリントの復習。

《専門科目》

科目名	検定文法				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

N2 レベルの日本語文章を理解するための文法を学ぶ。例文を読んで、意味と接続の関係を理解しながら文法を学んでいく。その上で、機能語をマスターし、文の形や構造をしっかりと把握する練習を積む。

《教科書》

耳から覚える文法トレーニングN2

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

翌週の授業で文章中の語彙や文法を小テストで確認し、フィードバックをする。

《授業の到達目標》

- ・文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができる。
- ・文章の流れに合った文かどうかを判断することができる。
- ・N2 に合格する。

《成績評価基準》

- ・期末テストで6割以上、毎回の小テストでは8割以上を求める。
- ・小テストを受けていない場合は減点対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %
課題 % 実技 %
授業の取組 50%
その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
2	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
3	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
4	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
5	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
6	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
7	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
8	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
9	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
10	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
11	文章の文法	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
12	文章の文法	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
13	文章の文法	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
14	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
15	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。

《専門科目》

科目名	検定文字語彙				
担当者氏名	志田 華奈子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

日常的な場面で使われる日本語を理解するための語彙を学ぶ。特に気持ちや様子を表す形容詞や副詞にポイントを置いて学ぶ。言語知識だけでなく、N2の読解や聴解問題に役に立つ語彙を身に付けるために演習を積む。

《教科書》

N2新完全マスター文字語彙

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回小テストを実施し、フィードバックする。

《授業の到達目標》

・日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。

・N2に合格する。

《成績評価基準》

・期末テストで6割以上、毎回の小テストでは8割以上を求める。
・小テストを受けていない場合は減点対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %

課題 % 実技 %

授業の取組 50%

その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	動詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
2	動詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
3	形容詞・名詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
4	形容詞・名詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
5	形容詞・名詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
6	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
7	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
8	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
9	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
10	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
11	慣用表現	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
12	慣用表現	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
13	慣用表現	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
14	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
15	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	井上 しづ恵、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

時事用語やビジネス用語をきちんと理解し、常識を身に付ける。表やグラフ、統計を理解し、問題を提起できるようにする。新聞記事などを読んで、課題を見つけ、解決につながる糸口を提起できるようにする。

《教科書》

ビジネス能力検定ジョブパス2級

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回演習問題を解き、授業内で解説する

《授業の到達目標》

- ・ インターンシップ前におさえておきたいビジネス知識やビジネスマナーを理解することができる。
- ・ 仕事に役立つ論理力を養うことができる。
- ・ 時事用語やビジネス用語を理解することができる。
- ・ 表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。
- ・ ビジネス能力検定2級に合格する。

《成績評価基準》

授業での演習を通して、ビジネス能力検定2級レベルの知識、思考力、分析力を身につけることができたかを評価する

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 60%
 その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	キャリアと仕事へのアプローチ	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
2	会社活動の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
3	話し方と聞き方のポイント	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
4	接客と営業の進め方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
5	不満を信頼に変えるクレーム対応	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
6	会議への出席とプレゼンテーション	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
7	チームワークと人のネットワーク	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
8	仕事の進め方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
9	ビジネス文書の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
10	統計・データの読み方、まとめ方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
11	情報収集とメディアの活用	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
12	会社数字の読み方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
13	ビジネスと法律・税金知識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
14	産業と経済の基礎知識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
15	知識・読解・分析などの総括	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する

《専門科目》

科目名	ビジネスプレゼンテーション				
担当者氏名	志田 華奈子、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

プレゼンテーションは、授業での口頭発表、就活、仕事上の企画や報告など様々な場面で必要とされるスキルである。またプレゼンテーションには、発表のテクニックだけではなく、論理的思考および文章力も必要になる。この授業ではプレゼンテーションとは何かを理解し、伝えたいことを論理的に考察し、適切な音声・スライド・文章表現などを身につけて発表できるスキルを身につける。

《授業の到達目標》

- ・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができる。
- ・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができる。
- ・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につける。

《成績評価の方法》

授業内発表 40%
課題 30%
授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

- ・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができたか。
- ・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができたか。
- ・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につけることができたか。

《参考図書》

- 『1分で話せ』伊藤羊一（SBクリエイティブ）
- 『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修（三省堂）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
2	プレゼンテーションの基本	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
3	プレゼンテーションの基本 (PREP法)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
4	プレゼンテーションの基本 (根拠とは)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
5	レポートを書く (テーマの動機付け)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
6	レポートを書く (段落構成の作り方)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
7	レポートを書く (文章作成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
8	実習 (プレゼンテーション作成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
9	実習 (中間発表)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
10	相手に伝わる話し方	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
11	プレゼンテーションのテクニック	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
12	プレゼンテーションのテクニック	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
13	プレゼンテーションのテクニック	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
14	授業内発表	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
15	発表評価と振り返り	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)

《専門科目》

科目名	実践的プログラミング演習				
担当者氏名	柿山 達哉、常岡 直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

実践的なマクロを自らアイデアを出して設計する。
上記設計の基づいてExcelシートを作成する。
作成したExcelシートのプレゼンテーション資料を作成する。
自分の作成したExcelシートのプレゼンテーションを行う。

《教科書》

今すぐ使えるかんたんエクセル2019
井上香緒里著
技術評論社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

個人ごとに課題に対する評価レポートを提示し、説明する。

《授業の到達目標》

自分で実用性のあるマクロ機能を使ったExcelシートを設計し、完成させることができる。

《成績評価基準》

- ・授業に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・出席率、予習、復習を重視します。

《成績評価の方法》

課題 60%
授業の取組 40%

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	課題マクロ作成 課題の内容説明	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	課題マクロ作成 アルゴリズム解説	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	課題マクロ作成 表とグラフのデザイン	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	課題マクロ作成 表とグラフのデザイン	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	課題マクロ作成 作成課題の提出	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	自由課題マクロ作成 自由課題の決定	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	自由課題マクロ作成 成果発表	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)